

労働者の健康増進へ 生命保険会社と協定

大崎市

企業の従業員や市職員らの健康づくりに関わる「健康経営」の普及・推進を図ろうと、大崎市は22日、アクサ生命保険（東京都）と連携協定を締結した。同社が市町村とこうした協定を結ぶのは、県内では石巻市に続いて2例目、東北6県で3例目という。

市などによると、協定は同社からの働きかけで実現した。取り決めでは、健康経営に取り組む企業の事例をウェブで公開したり、生活習慣課題や労働生産性を捉えるためのアンケートを実施したりするほか、ストレスから不調を訴える人に電話相談サービスを提供す

協定書を掲げる伊藤市長（左）とアクサ生命保険の佐藤浩・仙台支社長（22日、大崎市役所で）



ることなどを想定。健康の回復・増進に狙いを置いた「ヘルスツーリズム」の普及にも力を入れるという。この日の協定締結式で、伊藤康志市長は「世界農業遺産の『大崎耕土』や鳴子温泉などを健康づくりに生かしたヘルスツーリズムをさらに進めたい」とあいさつした。